

再評価結果（平成30年度事業継続箇所）

担当課：環境安全課

担当課長名：森山 誠二

事業名 幸地インター線インターチェンジ	事業区分 地方道	事業主体 沖縄県
起終点 自：沖縄県西原町翁長 至：沖縄県西原町幸地	延長 0.8km	
事業概要 沖縄21世紀ビジョン及び沖縄県総合交通体系基本計画に基づき、ハシゴ道路ネットワークの構築及びモノレールと高速道路の結節を図るために行うものである。		
H26年度事業化	H28年度都市計画決定	H28年度用地着手
工事未着手		
全体事業費 約51億円	事業進捗率 約9%	供用済延長 — km
計画交通量 10,170台/日		
費用対効果分析結果 B/C(事業全体) 4.0	総費用(事業費/事業全体) -71億円 事業費：-56億円 維持管理費：-15億円 (上記はNEXCO分を含む)	総便益(残事業/事業全体) -284億円 走行時間短縮便益：-252億円 走行経費減少便益：-23億円 交通事故減少便益：-9.7億円
感度分析の結果 基準年：平成25年		
(事業全体) 交通量：B/C= — (交通量 ±10%) 事業費：B/C= — (事業費 ±10%) 事業期間：B/C= — (事業期間 ±20%)		(残事業) 交通量：B/C= — (交通量 ±10%) 事業費：B/C= — (事業費 ±10%) 事業期間：B/C= — (事業期間 ±20%)
事業の効果等 インターチェンジを設置することにより、高速道路利用の向上が図られ、一般道から高速道路への転換を促すことで交通渋滞の緩和に寄与する。また、ハシゴ道路の構築に資することで、国道58号等に集中する南北方向のアンバランスな交通需要の分散効果が期待される。		
関係する地方公共団体等の意見 ・都市計画決定の手続きにおいて、周辺住民と合意形成を図っている。		
事業評価監視委員会の意見 —		
事業採択時より再評価実施時までの周辺環境変化等 —		
事業の進捗状況、残事業の内容等 用地取得率約5%、事業進捗率約9%		
事業の進捗が順調でない理由、今後の事業の見通し等 残る用地の取得に向け用地交渉を継続している。		
施設の構造や工法の変更等 今後も新技術の採用や工法の見直しによる工事コストの縮減等、総コストの縮減に努めていく		
対応方針	事業継続	
対応方針決定の理由	—	
事業概要図		

※ 総費用、総便益とその内訳は、各年次の価額を割引率を用いて基準年の価値に換算し累計したもの。
 ※ 総費用及び総便益の値は、表示桁数の関係で内訳の合計と一致しないことがある。